



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション  
コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー (氏名) 岡田高志

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,463	0.3	13	82.8	13	83.3	16	
2023年3月期第2四半期	1,459	4.3	81	36.3	83	39.2	42	49.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 24百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	4.45	
2023年3月期第2四半期	11.54	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,648	4,946	87.6
2023年3月期	5,781	5,109	88.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,946百万円 2023年3月期 5,109百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		45.00	45.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,221	9.8	267	52.2	273	49.1	166	56.2	45.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	4,536,000 株	2023年3月期	4,536,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	859,612 株	2023年3月期	859,612 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	3,676,388 株	2023年3月期2Q	3,676,388 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行し、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。また海外経済においては、欧米各国の金融引き締め長期化への懸念から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、新しい仕組みづくりが求められております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、主力である教育事業及びスポーツ事業において、顧客の信頼・信用を得て、サービスを継続・発展させることに尽力しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高14億63百万円(前年同期比4百万円増)となりました。

利益面につきましては、営業利益13百万円(前年同期比67百万円減)、経常利益13百万円(前年同期比69百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシス及び株式会社セア教育研究所を含む当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は6,135名(前年同期比2.6%増)となり、売上高は11億42百万円(前年同期比0百万円減)、セグメント利益は52百万円(前年同期比52百万円減)となりました。

#### (スポーツ事業)

当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は4,056名(前年同期比9.6%減)となり、売上高は1億54百万円(前年同期比13百万円減)、セグメント利益は6百万円(前年同期比1百万円増)となりました。

#### (飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は86百万円(前年同期比2百万円減)、セグメント損失は24百万円(前年同期はセグメント損失20百万円)となりました。

#### (その他)

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は82百万円(前年同期比21百万円増)、セグメント損失は20百万円(前年同期はセグメント損失8百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は36億10百万円(前連結会計年度末比1億33百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が1億44百万円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は20億38百万円(前連結会計年度末比0百万円増)となりました。

これは主に、有形固定資産が8百万円増加したことと投資その他の資産が10百万円減少したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は5億2百万円(前連結会計年度末比29百万円増)となりました。

これは主に、未払法人税等が12百万円増加し、流動負債その他が17百万円増加したことによるものであります。

#### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億99百万円(前連結会計年度末比0百万円増)となりました。

これは主に、退職給付に係る負債が5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は49億46百万円(前連結会計年度末比1億62百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が1億81百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同期末に比べ1億57百万円減少し、24億98百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は47百万円(前年同期は97百万円の減少)となりました。

これは主に、棚卸資産の減少が19百万円(前年同期は53百万円の増加)であったこと、及び法人税等の支払額が7百万円(前年同期は61百万円)あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は23百万円(前年同期は1億14百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が20百万円あったこと、及び投資有価証券の取得による支出が前年同期は1億円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は1億71百万円(前年同期は1億76百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払額が1億65百万円(前年同期も1億65百万円)あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期において、主力事業である教育事業の平均生徒数実績が、予想比146名減(2.3%減)と予想を下回る水準で推移しております。スポーツ事業の平均生徒数実績も、予想比233名減(5.4%減)と予想を下回っております。詳細については、2023年11月8日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

通期の連結業績予想につきましては、前回公表値と同額を予想しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,399,770	3,255,219
受取手形及び売掛金	12,359	35,642
商品及び製品	233,588	218,726
原材料及び貯蔵品	11,333	6,649
その他	86,491	93,940
流動資産合計	3,743,542	3,610,178
固定資産		
有形固定資産	323,514	332,026
無形固定資産		
のれん	68,364	61,447
その他	29,693	38,476
無形固定資産合計	98,057	99,924
投資その他の資産		
投資有価証券	1,125,161	1,134,658
その他	491,637	471,838
投資その他の資産合計	1,616,798	1,606,497
固定資産合計	2,038,370	2,038,448
資産合計	5,781,913	5,648,627
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,358	20,411
短期借入金	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	10,008	10,008
未払法人税等	15,420	27,854
賞与引当金	41,024	38,296
店舗閉鎖損失引当金	-	6,000
その他	242,739	260,393
流動負債合計	473,550	502,963
固定負債		
長期借入金	39,992	34,988
退職給付に係る負債	107,672	112,837
資産除去債務	23,390	24,490
その他	28,127	27,074
固定負債合計	199,182	199,390
負債合計	672,732	702,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,700,625	5,518,831
自己株式	△736,402	△736,402
株主資本合計	5,206,622	5,024,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△117,287	△99,018
為替換算調整勘定	19,846	20,462
その他の包括利益累計額合計	△97,441	△78,555
純資産合計	5,109,181	4,946,273
負債純資産合計	5,781,913	5,648,627

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	1,459,682	1,463,870
売上原価	992,763	1,052,200
売上総利益	466,919	411,669
販売費及び一般管理費	385,696	397,717
営業利益	81,222	13,951
営業外収益		
受取利息	751	711
受取配当金	5,614	4,911
受取手数料	156	2,089
受取賃貸料	824	792
その他	811	1,531
営業外収益合計	8,158	10,035
営業外費用		
支払利息	962	1,161
支払手数料	1,816	1,875
持分法による投資損失	482	2,163
投資有価証券評価損	2,872	4,507
その他	-	382
営業外費用合計	6,134	10,089
経常利益	83,246	13,897
特別利益		
固定資産売却益	41	-
特別利益合計	41	-
特別損失		
固定資産売却損	24	-
減損損失	352	403
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	6,000
特別損失合計	376	6,403
税金等調整前四半期純利益	82,911	7,493
法人税等	40,494	23,849
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,416	△16,356
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	42,416	△16,356

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,416	△16,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,737	18,269
為替換算調整勘定	1,422	616
その他の包括利益合計	△67,314	18,886
四半期包括利益	△24,897	2,530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,897	2,530
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	82,911	7,493
減価償却費	16,971	18,750
減損損失	352	403
のれん償却額	-	6,916
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,770	△2,727
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	-	6,000
受取利息及び受取配当金	△6,365	△5,623
支払利息	962	1,161
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,872	4,507
持分法による投資損益 (△は益)	482	2,163
固定資産売却損益 (△は益)	△17	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,150	△23,282
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△53,764	19,546
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,133	△3,947
前受金の増減額 (△は減少)	△21,233	△9,414
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,845	6,868
預り保証金の増減額 (△は減少)	110	277
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,087	5,164
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△13,469	△5,810
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	4,338	19,184
その他	65	2,682
小計	△40,770	50,313
利息及び配当金の受取額	6,365	5,618
利息の支払額	△961	△1,164
法人税等の支払額	△61,690	△7,654
営業活動によるキャッシュ・フロー	△97,056	47,114

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△79,900	△82,900
定期預金の払戻による収入	79,900	79,900
有形固定資産の取得による支出	△8,727	△20,291
有形固定資産の売却による収入	70	-
無形固定資産の取得による支出	△6,700	△10,560
投資有価証券の取得による支出	△100,000	-
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	792	7,641
貸付けによる支出	△3,800	△3,300
貸付金の回収による収入	3,762	3,933
その他	-	1,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,602	△23,744
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△10,000	-
長期借入金の返済による支出	-	△5,004
配当金の支払額	△165,437	△165,437
その他	△1,127	△1,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,564	△171,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,720	689
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△386,503	△147,550
現金及び現金同等物の期首残高	3,042,188	2,645,761
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,655,685	2,498,210

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,142,784	168,146	89,267	1,400,197	59,484	1,459,682	—	1,459,682
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	929	929	△929	—
計	1,142,784	168,146	89,267	1,400,197	60,413	1,460,611	△929	1,459,682
セグメント利益又 は損失(△)	105,242	5,114	△20,607	89,749	△8,526	81,222	—	81,222

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては352千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,142,338	154,578	86,311	1,383,227	80,642	1,463,870	—	1,463,870
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	1,535	1,535	△1,535	—
計	1,142,338	154,578	86,311	1,383,227	82,178	1,465,405	△1,535	1,463,870
セグメント利益又 は損失(△)	52,920	6,294	△24,775	34,438	△20,487	13,951	—	13,951

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「教育事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては403千円であります。